

2020年7月17日 第3330回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 岡田 会長
<斉 唱> 「それこそロータリー」
<ゲスト紹介> *一般社団法人日本アジア青年交流協会
常務理事/監理部統括本部長 秋山 香緒里 様
*有限会社湘南大滝商会 代表取締役 大石 朗 様
*株式会社タテシ建機リース 代表取締役 立石 文彦 様
<ビジター紹介> *東京紀尾井町ロータリークラブ 中村 俊輔 様
<会長報告> *第1回理事役員会 報告
*ガバナー事務所より
・2020-21年度地区役員ご就任委嘱(追加)の件について
青少年交換委員会 委員 勝見 慎一 会員
<委員長報告> *インターアクト委員会 鈴木(之)委員長より報告
・2020-21年度インター・ローターアクト委員会方針について
・2020-21年度年間スケジュールについて
・青少年ボランティア誓約書について
・RI本部への情報更新について
・インターアクト2020-21年度DIR・副DIRについて
*ローターアクト委員会 角井委員長より報告
*ZOOM委員会 小平委員長就任挨拶
<幹事報告> *ガバナー月信 NO. 12
*2019-20年度地区大会報告書 受領
*週報・横須賀北RC/横須賀西RC/横須賀南西RCより 受領
<出席報告> *出席委員会 小林(-)委員長より7月17日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
112名	101名	76名	25名	0名	75.25%

<ニコニコ報告>

- ・三 役 (一社)日本アジア青年交流協会常務理事/監理部統括本部長 秋山香緒里様ようこそ横須賀ロータリークラブへお越しくださいました。卓話よろしくお願ひいたします。
- ・八 木、小保内、白井、畑、高橋(働)、瀬戸、中山、鈴木(働)、福西、小山(働)、鈴木(働)、小沢、後藤、小山(働)、兼城、植田、山田、猿丸、澤田、勝間、中村、高橋(働)、杵淵、田邊、長尾、Enora、宮島、徳永、長坂、西村(働)、前田、齋藤(働)各会員
元宝塚歌劇団雪組男役スター、(一社)日本アジア青年交流協会常務理事/監理部統括本部長 秋山香緒里様、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひいたします。本当にオーラを感じます。
- ・鈴木(働)、岡田、木村、小平、小保内、奥山、小林(働)、勝見、北村、齋藤(働)各会員
東京紀尾井町RC 中村俊輔様、本日はようこそお越しくださいました。横須賀RCを楽しんでください。
- ・角井、田中、田村、松本(働)、小保内、川出、小林(-)、加藤(働)、上林、二瓶、前川、三堀、齋藤(働)各会員
藤井聡太・新棋聖 昇格おめでとうございます。これからも活躍期待しています。

一般社団法人 日本アジア青年交流協会
常務理事／監理部統括本部長
秋 山 香 緒 里 様

皆様、こんにちは。只今ご紹介に預かりました秋山香緒里と申します。本日は岡田会長にお声がけを頂き弊社の理事長中村とお邪魔させて頂いております。先ほどのご紹介にありましたように理事長は紀尾井町ロータリークラブのロータリアン、また私の父そして祖父もロータリアンでございます。そのようなご縁もありまして本日横須賀ロータリークラブにて卓話をさせて頂けることは、本当に光栄なことだと思います。ありがとうございます。



私は3年前まで宝塚歌劇団雪組の舞台に立っておりました。宝塚を退団後、一般社団法人日本ア

ジア青年交流協会に入社、ベトナムのハノイにて1年3か月、日本語講師として勤めてまいりました。そして帰国後、常務理事として活動させて頂いております。

岡田会長と私は今の仕事で深い関わりがございます。弊社は外国人技能実習生の監理団体で、岡田電機工業様には、ベトナム人の技能実習生を2名受け入れて頂いております。岡田電機工業様はベトナム人だけではなくフィリピン人、タイ人、中国人などで、多様性あふれるグローバル化された素晴らしい会社です。2名の技能実習生も、入社して約1年が過ぎようとしており、元気に生き生きのびのび仕事をさせて頂いております。

私の簡単な自己紹介をしていきたいと思っております。山口県周南市出身、山口県立徳山高等学校1年修了後2002年4月宝塚音楽学校入学、2004年3月宝塚音楽学校卒業と同時に宝塚歌劇団に入団し、14年間に在籍しました。2017年7月宝塚歌劇団を退団、同年11月一般社団法人日本アジア青年交流協会へ入社、日本語講師としてベトナムのハノイへ渡ります。2019年1月帰国、12月常務理事就任、監理部統括本部長として活動しております。

さて、タカラジェンヌ時代のお話をしていきたいと思っておりますが、宝塚をご覧になったことがある方はいらっしゃるでしょうか。宝塚歌劇団は106年の歴史のある立派な歌劇団で、私でもチケットを取れないほど大人気の状況にあります。宝塚歌劇団時代の概歴ですが、2004年4月に第90期生として宝塚歌劇団に入団し、雪組公演「スサノオ／タカラヅカ・グローリー！！」で初舞台、その後雪組に配属されます。2006年7月 TAKARAZUKA SKYSTAGE という宝塚専門チャンネルのタカラヅカニュースというコーナーでメインMCとしてスカイ・フェアリーズを務めます。2009年3月「ZORRO 仮面のメサイア」新人公演で初主演、2013年7月 TAKARAZUKA SKYSTAGE で第5期スカイ・レポーターズを務めます。2017年7月23日「幕末太陽傳／Dramatic "S"！」東京公演千秋楽をもって宝塚歌劇団を退団します。

ここからは14年間の宝塚在団を約5分間で話しますので詰まった内容を聞いて頂けると思います。毎年春、ニュースでご覧になったことがあるのではないかと思います。こちらは宝塚音楽学校の合格発表の様子です。私の受験した年は2.2倍位の倍率で、山口県の周南市という片田舎から受験して合格します。宝塚音楽学校は2年間あり、歌、ダンス、お芝居（演劇）、日本舞踊、タップダンス、お三味線、お琴、ピアノなど芸事を勉強します。テレビなどで厳しい規則をご存じかもしれませんが、掃除、上下関係は本当に厳

しいです。特に掃除は毎朝1時間20分、お昼と放課後に点検があります。上級生が指で触って埃があったら本当に怒られます。毎朝掃除しているので汚れてはいないのですが、埃ひとつ出さないようにどれだけ綺麗にできるかというのが1年目の試練といますか、課題なのです。宝塚歌劇団に入ると意外に上下関係は緩くなり仲良くさせて頂けるのですが、音楽学校で学んだ規則や掃除、上下関係などの厳しさは今にも続く大切なものだったと思います。この写真は2004年の初舞台公演「スサノオ/タカラヅカ・グローリー！！」で、初めて舞台化粧をしたときのものです。初めはちぐはぐした顔をしていまして、親が見ても自分の娘がわからないらしいです。これは3年目位のものですが、ようやく男役っぽくなってきます。男役の苦労というものもたくさんあります。元々女性なので、声が高いですね。音楽学校の2年間で低い声を出す練習、低い歌を歌う練習をします。舞台に立ち始めてわかったのですが、男役としての歩き方は、がに股で、歩幅も女性のように細かく歩かずががつく歩くというように、肩で風を切るイメージと言われました。そのイメージが全然わからなかったのも、とりあえず大股で歩き胸を張って男性らしくし、普段電車に乗った時に気にしてみるの男性だけでした。映画でも外国の男性の方を見て研究をしていました。1か月の舞台をするのに、その前には1か月半お稽古をします。歌とダンスの練習が朝9時半から始まって、家に帰るのが夜中の12時とかでした。好きで入ったのですが、今思えばすごく働いたなと思います。男役でしたが、ドレスを着て娘役をすることもあり、当時女装と言われていました。2009年新人公演の主演をします。新人公演というのは、若手だけでする公演で人数は少ないのですが、その中で真ん中に立たせて頂きました。その時学んだことは、舞台は一人では成り立たないということです。周りの方がいて盛り立ててもらい真ん中がより格好良く見える、横には可憐な娘役さんがいらっしやってお互いの相乗効果でより良い舞台になるということはこの主演した舞台で学びました。大変な公演だったのですが良い思い出になり、貴重な経験となりました。宝塚歌劇団は華やかな舞台で、この写真はショーの場面のものですが、衣装もぎらぎらしていますね。おじさんやおじいちゃんなど子どもから老人まで演じるので、そこがまた楽しく14年間本当に色々な役をやらせていただきました。徳川吉宗の役をやらせて頂いた時は、袴(かみしも)という衣装を着させてもらいましたが、日本のものは所作が難しく、所作指導の先生や同期、先輩に教えて頂きながら作り上げていったという思い出があります。これは亡霊という役をしまして、初舞台以来、母に化粧すごかったわね、と突っ込まれたものです。

2017年7月に宝塚歌劇団を卒業すると同時に次の新たなステージに行くわけですが、それがベトナムです。この仕事に結びついたのは、元々宝塚も母が大ファンで一回だけ受けてみてと言われて受けたら合格したものなので、本当は自分の中で外国に行って外国と繋がる仕事をしたいという夢がありました。知り合いに相談をして紹介してもらったのが中村理事長でした。宝塚歌劇団を退団して3か月後にはベトナムのハノイに渡ります。皆さん、外国人技能実習制度というものをご存じですか。外国から日本の企業へ働きに来ている方がたくさんいますが、この制度で入って来ている人が多いです。外国人技能実習制度とは、外国から日本に来て日本の企業で働き、日本の技術を学び、その技術を母国に持ち帰り、母国を発展させようという狙いのある制度です。実際は日本に出稼ぎに来ているという所もあります。受け入れ企業と働きに来る外国人の間に立つのが、弊社のような監理団体です。他の監理団体との大きな違いは、自社経営の日本語学校ということです。自社経営ですので、全て弊社でコントロールをしている学校です。朝は掃除、朝礼、授業3コマ、昼休憩のあと午後も授業3コマ、夜は自習、これは私がベトナムにいるときに決めた時間割です。ここで宝塚時代に学んだこと、掃除が役に立ちました。日本は5Sを大事にします。日本の生活に慣れて頂かなくてはなりません、日本に来て叩き込むのは難しいので、向こうで日本の厳しさを教えておくと、日本に来た時に掃除ができて、綺麗好きになっていて、すんなり受け入れてもらえます。私は宝塚のノウハウを学校のスタッフから指導しました。これが、自社経営の強みだと思います。朝礼では、ラジオ体操第一・第二をみっちり教えました。そして、ちょうど林先生の「今でしょ」というのが流行っていたので、「いつ勉強するの 今でしょ、いつ頑張るの 今でしょ、いつ日本へ行くの 今でしょ」というスローガンを作り、彼らにも言うてもらいました。授業風景はこんな感じで、日本語の教科書を使っています。クラスは多くても15人位で、8クラス位あります。

外国人技能実習生の雇用までの流れは、求人票を企業様に出してもらいます。ベトナムの現地スタッフによる募集が始まり、今はコロナでベトナムに渡れませんが、岡田会長にも行ってもらったように、本来は現地で面接をして、雇用契約をします。現地にて約半年の日本語教育、その後1か月の入国後研修、企業へ配属、入社ということになります。

岡田電機工業様の時の写真を出させていただきますが、面接、そして家族面接のあと家族と写真を撮ります。子どもを日本に出す家族は不安なので、一緒に会社の説明をし、コミュニケーションをとるのが狙いです。日本に3年、5年あるいはそれ以上行く子もいるので皆さん心配されますが、実際お話をすると安心してとてもいい笑顔をして頂けます。この写真は私がいた時の学校の様子で、みんなもう日本に来て働いている子たちです。

「日本を愛する人材を育成し、企業との架け橋となる。」私は宝塚歌劇団を卒業して全く違う世界に入りましたが、宝塚時代に学んだこと、掃除はもちろん、同期の繋がりや、一緒に働くということ、そこしか頼れる人がいない、会社様に助けて頂く、という辺りが宝塚を卒業した私だからわかると感ずるところです。これからは、日本で働く技能実習生の子たちが安心して働けること、日本をもっと好きになって母国へ帰ってもらうことを私の夢として、私自身いつも視野を広げて新しいことに挑戦し、新しいことを吸収して大きな人間になっていきたいと思っております。本当は5時間位話したいところですが、ぎゅっとまとめてみました。

宝塚歌劇団の歌で「すみれの花咲く頃」というものがあり、お聞きになった方もたくさんいるのではないかと思います。私は、今芸能活動はしていないのですが、今日は久しぶりに歌ってみようかと思ひます。心を込めて精一杯歌いたたいと思ひます。

～♪すみれの花咲くころ♪～

ありがとうございます。久しぶりに宝塚歌劇団っぽいことをしました。本日は短い時間ではございましたが、私の身の上話を聞いて頂き、本当にありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 岡田 会長

週報担当 小山 美智恵